

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0590
施設名	昭島ゆりかご第二保育園
施設所在地	昭島市田中町3-5-20
法人名	社会福祉法人ゆりかご会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

公園で見つけた音

<テーマの設定理由>

自然物(どんぐり)を使い、音が鳴る不思議さや面白さを感じる。

2. 活動スケジュール

- ・戸外にたくさん出かけ、探索活動を盛んに行う。
- ・子どもが発見した事に耳を傾け、共感共有する。
- ・身近な自然(砂、水、草花、虫、風など)などに、興味感心を持つ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材】

- ・自然物を入れる袋

【環境設定】

- ・自然物(どんぐり)を拾う前に、ゴミや危ない物が落ちていないか点検する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①公園の水飲み場に石を置いた。
- ②排水穴より大きい石だった為、下に落ちなかった。
- ③後日、どんぐり拾いに出かける。
- ④拾ったどんぐりを排水穴に落としてみる。
- ⑤水道を囲んでいるステンレス製の筒状部分にどんぐりが当たり、「カーン」と音が響くことに気がつく。
- ⑦今、入れたどんぐりが地面に落ちる事にも気付き、拾って再び排水穴に入れるを繰り返す。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

最初は、筒状構造の為、どんぐりが下から出てくる様子が面白く遊んでいたが、入れ方によって角度が違くと「カーン」と予想外のきれいな音が出て、穴に入れていた子どもが「え？」と驚きで固まっていた。それからは、音を聞きたい気持ちから何度もどんぐりを入れてはみるが、必ず当たって音がでるわけではない為、色々に入れ方を試していた。保育者も一緒にどんぐりを入れてみたが不思議と音が鳴らず、子どもたちと顔を見合いながら穴の所をのぞいていた。音の不規則性が興味を持続するポイントになった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

散歩で遊びにきていた時に、公園にあった物での偶然の発見に子どもたちの驚いた表情が印象的だった。「なんだろう？」という興味心から水が流れる穴に指を入れ、次に石を入れて入らないことがわかると入りそうなどんぐりを見つけ、どうにかして音を聞きたいという思いが遊びを広げていた。改めて、子どもの気持ちに寄り添う大切さを目の当たりしたような気がした。